

経営比較分析表（令和6年度決算）

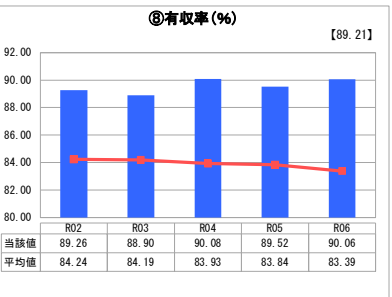
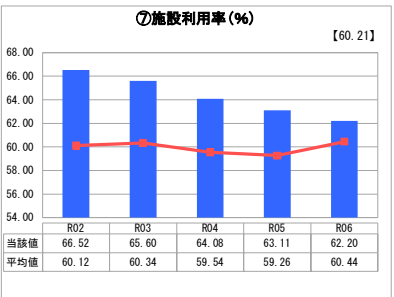
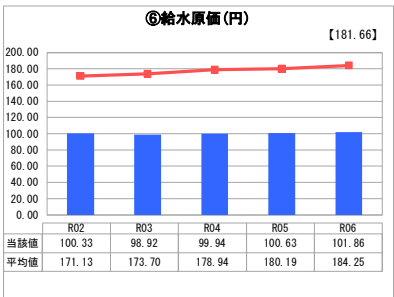
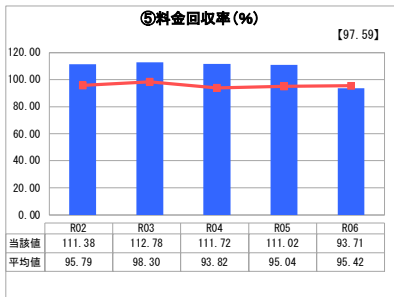
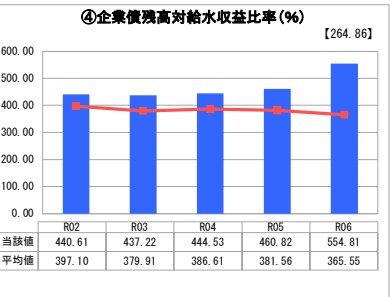
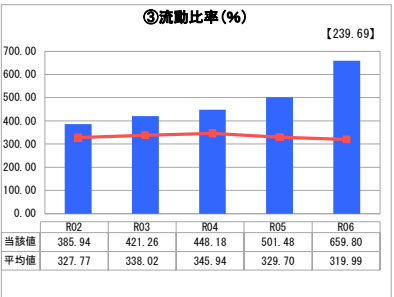
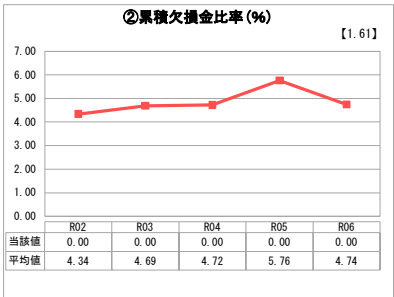
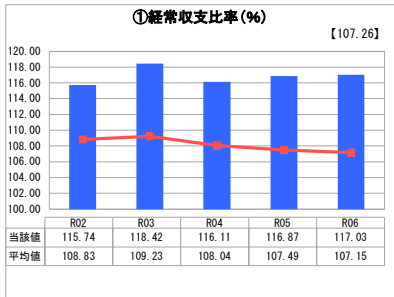
群馬県 玉村町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	60.34	99.90	2,320	

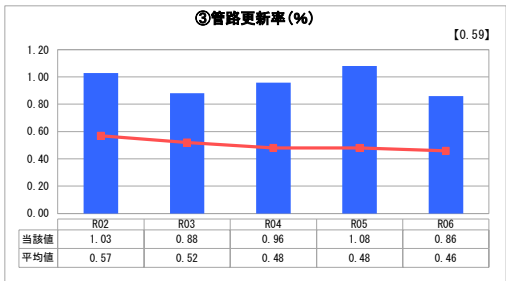
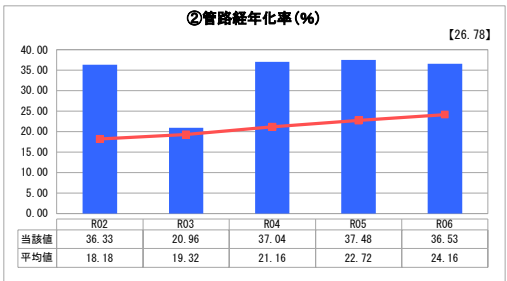
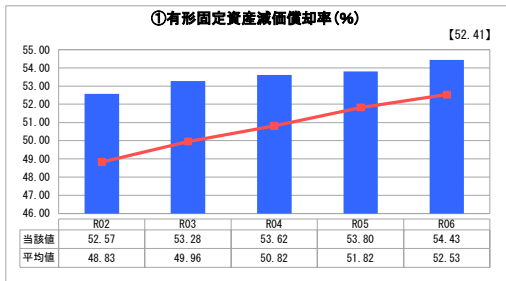
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
35,620	25.78	1,381.69
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
35,367	25.78	1,371.88

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値） — 類似団体平均値（平均値） 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
類似団体平均値を上回っており、100%以上で推移していることから、収支は黒字であり健全な状態を保っている。

③流動比率
類似団体平均値を上回っており、300%を超えて推移しているため、短期債務に対する支払能力を十分に有している。

④企業債残高対給水収益比率
類似団体平均値を上回っており、建設投資の財源を借入れに頼っている状況である。将来的な更新を見据え、適切な給水収益の確保を含めた財務管理が必要と考えられる。

⑤料金回収率
令和6年度は当該年度に実施した基本料金減免事業の影響で数字の上では100%を下回ったが、実質的には100%以上で推移していることから、給水に必要な費用を給水収益で賄えている状況にある。

⑥給水原価
類似団体平均値を下回っており、効率的な維持管理、経営に努めている。

⑦施設利用率
類似団体平均値を上回っており、適切な規模で効率的な施設の利用に努めている。

⑧有収率
類似団体平均値を上回っているが、今後ともさらなる漏水対策や計画的な管路の更新が必要である。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
類似団体平均値を上回っており、老朽化が進んでいることから、計画的な更新が必要である。

②管路経年化率
類似団体平均値を上回っており、効率性・計画的な更新が必要である。

③管路更新率
類似団体平均値を上回っているが、老朽化が進んでいることから、引き続き計画的な管路更新に努める必要がある。

全体総括

本町の水道事業については、①経常収支比率100%以上を維持し、また他の類似団体を上回っていることから、近年の経営状況については比較的良好といえる。しかし、給水人口の減少を踏まえ今後の水需要動向により、施設規模の見直しの検討及び計画的な更新が必要である。また、⑤料金回収率について、令和6年度は基本料金減免事業の影響で数字の上では100%を下回ったが、実質的には100%以上で推移しており、経営に必要な経費を料金で賄えることができている。しかし、④企業債残高対給水収益比率が類似団体平均を上回っていることから、老朽化した施設の更新費用を企業債により賄っている状況にある。なお、浄水場更新事業が控えており、安定した経営基盤を確立するため、令和7年4月に料金改定を実施したところである。今後も定期的に料金の見直しを図るなど、経営の健全化に努める必要がある。